



Dryflower
of
Rose



happy777happy

バラを用意する。

バラのドライフラワーを作って飾ろうと思い立ったら、まずはバラの花を入手する必要があります。 ←これは当然ですよ。

でも、広島県の海沿いの町に住んでいる私の場合、バラの花が咲くのは5月になってからなので、それまでは自分で育てた**バラ**をドライフラワーにして楽しむことが出来ないんです。

・・・となると、もう、買ってくるしかないですよ。

・・・と言う訳で、近くの花屋さんに行ってみると、ありました。

何個ものバラの花が300円くらいで安く売られています。

これこれ、と思い、その綺麗な**バラ**を買ってきてドライフラワーを作ることにしました。

5月になると、少しずつですが、バラが咲き始めます。

4月の終わりに降った雨で、植えていた赤いバラの葉っぱが水滴で綺麗です。

6月の初めには、もうバラの花が満開です。

乾燥させる。

入手したバラを乾燥させる方法には色々ありますが、私が最近、やっている乾燥方法は「立体押し花」とでも呼んだらよいのでは?と思う方法なんです。

この方法でバラの花のドライフラワーを作ると、しわしわに縮れることなく、きれいなドライフラワーが作れるんです。

この方法で実際にバラのドライフラワーを作ってみてください。

1. まず、100円ショップでパーライトという大きめの白い砂を買ってきます。パーライトはとても軽くて、通常の用途は園芸で使用する保水剤とのことですので、園芸コーナーで袋に入れて売られていると思います。多孔性とありますがシリカゲルと異なり、吸湿性はほとんどありません。

2. 次にすることといえばバラの花を花の部分から3cm程度のところで切って、このパーライトを敷き詰めた容器に乗せて、その上からパーライトを振り掛けて、容器ごとトントンとたたいてパーライトと花の間隙を埋めてやります。

3. ここまでできたら、あとはその容器を車の中に置いておくだけ。暑い夏場なら1日でドライフラワーの出来上がりです。

パーライトは中に埋められたバラの花が乾燥してゆく過程で小さく縮まろうとしても、花の周囲から花びらを押しえつけているため、しわしわに収縮したドライフラワーになってしまうのを防ぐんです。

これはちょうどコスモスの押し花を作るとき、花の上下から紙がコスモスの花弁を押しえつけて小さく縮まってしまわないのと似ていると思います。

押し花の場合には紙で押しえつけていますので2次元のドライフラワーともいえる押し花となるわけですが、このパーライトを使う方法では、バラの花は元の形のままパーライトで押しえつけられていますので、きれいなもとの形が保たれるというわけです。

シリカゲルに埋め込んで乾燥させる方法でもドライフラワーを作ることができるんですが、シリカゲルは重たくて中に埋めたバラの花がシリカゲルの重さでへっちゃげることもしばしばです。

そういう意味では、重量の軽いパーライトを使うこの方法はきれいなドライフラワーづくりにピッタリです。

また、何ととってもパーライトは100円ショップの園芸コーナーで売られているため、価格の面でも好都合です。

こんな良いことづくめのパーライトですが、一つだけ欠点というか嫌な点があります。それは微粒のものがバラの花にくっついて粉っぽくなるという点なんです。

現在は筆で砂埃を払ったり、細く削った竹の先で花にくっついたパーライトを飛ばし、息を強く吹きかけて砂埃を払っていますが、パーライトをあらかじめ洗って微細粒を取り除くというような処理を施すということも必要となると思っています。

次章ではパーライトのこの欠点を回避するために、微粒がないもみ殻を使ったドライフラワーづくりをご紹介しますと思います。

もみ殻を使うドライフラワーづくりには2つの方法があります。その一つは比較的大きめの缶の底にシリカゲルを入れて缶の中の空気が乾燥する状態にしておいて、その缶の中に比較的小さめの容器にもみ殻に埋めたバラの花を入れたものを置いて、もみ殻の中に埋まった状態でバラの花を乾燥させるというものです。大きめの缶の中に入れる乾燥剤としてはシリカゲルの他にも100円ショップなどで比較的簡単に手にいれることができる塩化カルシウムも使えます。

もう一つの方法はバラの花をもみ殻に埋めてその容器を車の中に入れておくというものです。こちらは乾燥剤が不要という利点があるのですが天気が良くて車の中が暑くなる日でないとききれいなドライフラワーをつくることができないという欠点があります。



できたドライフラワーを綺麗に飾るため、私は細い針金を花卉の下の軸にくっつけています。くっつけるために最近ではドライフラワー用のテープを使っていますが、細めの針金で巻きつけることもあります。このテープも針金も手芸店で入手できます。

こうしてできたバラのドライフラワーを私は粘土で作った小さな塊に立てて飾っています。

飾る際の容器に凝ったものを使うと、より引き立ってきれいに見ることができると思います。